

例会報告：2012年10月16日（曇）第1771回年通常例会

☆ ビジター
椎野 武様 (小田原RC)

☆ 会員誕生日
清 康夫さん (10月22日)
木村 頼弘さん (10月24日)
太田 忠さん (10月26日)



☆ 奥様誕生日
渡部 喜代子さん (10月22日)

☆ ニコニコ箱

金山 慶昭 委員	ニコニコ箱	累計	目標
10月16日分	19,000	361,500	1,300,000

☆ ビジター
椎野 武様 (小田原RC) …本日はお世話になります。今日は当組合の創立60周年記念式典と講演会のご案内にお伺させて頂きました。宜しく御願います。

☆ 会員誕生日
清 康夫さん…①この22日で満71才になります。昨年度より食べ過ぎに注意し、体重7kg、ウエスト10cm減りました。体調もすこぶる調子良くなり、気持的には55才位と思っています。②10月14日にて溪流釣りも終わりましたが、あまり良い成果ではなかった。来期に期待して。

太田 忠さん…御祝いありがとうございます。26日で62才になります。早いですね・・・

木村 頼弘さん…お誕生日のお祝いありがとうございます。これからも元気な時は元気に、そうでない時も元気なフリをして取り敢えず、一年間頑張ります。

☆ 奥様誕生日
渡部 重海さん…女房の誕生日の御祝いありがとうございます。今月で70才になりますので、当人は余りうれしくないと言っております。

☆ その他
井上 寛さん…椎野理事長、ご苦労様です。

大谷 宏さん…①眼の前にはニコニコ委員の金山君がニコニコの枚数を寂しそうに数えているので、かわいそうなので、何となく・・・②小嶋会長の挨拶の中には教えられることがあります。でも挨拶の全てではありませんよ。これからも小嶋会長の挨拶に期待しています。

一寸木 信雄さん…北九州でJCの全国大会の為10月12日～14日まで北九州の小倉、博多に出席しました。10月13日は柳川で川下りをし、楽しみました。

杉崎 勝成さん…所用の為途中退席させて頂きます。小嶋会長すみません。

■■■ 今後のメーキャップ情報 ■■■

- 2012年10月-
- ▶ 31日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話：江成健一会員・伊東昌彦会員」
- 2012年11月-
- ▶ 1日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話：クラブフォーラム/地区大会の報告」
 - ▶ 2日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話：深澤昌光会員/深澤旅館取締役」
 - 足柄 おんりーゆー 12:30
「担当委員会による卓話」
 - ▶ 5日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「クラブ・フォーラム/指名法を求める」
 - ▶ 6日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「卓話：岩田正崔(まさたか)会員/箱根ガラスの森美術館館長」
 - ▶ 7日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「クラブ協議会/50周年記念事業の内容検討」
 - ▶ 8日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「ガバナー公式訪問」
 - ▶ 9日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話：望月博文会員/桐望月塗装社長」
 - 足柄 おんりーゆー 12:30
「担当委員会による卓話」
 - ▶ 12日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「卓話：米山典行様/㈱小田原魚市場社長/漁港の歴史と市場の役割」
 - ▶ 13日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「卓話：澤田君雄会員/小田原フラワー代表」
 - ▶ 14日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話：田島裕子様・Instructor/寝たきりにならない筋トレ」
 - 小田原城北RAC 19:30 マロニエ204号
「卓話：新会員 須藤この実 会員」
 - ▶ 15日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話：地区ロータリー財団委員/R財団に関する卓話」
 - ▶ 16日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話：小松雄成会員/小松会計事務所所長」
 - 足柄 おんりーゆー 12:30
「担当委員会による卓話」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：http://www.odawarajhrc.jp
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監修：久保田 知子
編集長：須賀 俊和
コピーライター：大川 誠
デザイン：小林 和彦
フィールド：須藤 公司・小楠 雅昭

会員数：48名

ROTARACT CLUB

RAC
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2012-2013
WEEKLY BULLETIN



【R. I. 会長】
田中 作次
【R.I. 2780地区ガバナー】
菅原 光志
【第9グループガバナー補佐】
鈴木 悌介



【会長】小嶋 章司
【副会長】中野 明
【幹事】久保田 知子
【副幹事】大川 久弥
【会場監督】清 康夫

奉仕を通じて平和を
PEACE THROUGH SERVICE

本日の例会：通常例会（第1772回）

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2012年10月30日 12:30～13:30
司会：大川 久弥 副幹事

12:30	開会点鐘：小嶋 章司 会長 ローターソング斉唱「それこそロータリー」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13:00	担当：指導者育成委員会 卓話： 杉本榮次様地区職業奉仕委員会委員/秦野RC 「未定」
13:30	閉会点鐘：小嶋 章司 会長

今見つめ直そう不易なるものと流行

【今後の例会・卓話スケジュール】

11月6日 通常例会(RC) 12:30
担当：プログラム委員会(太田)
卓話：押田 洋二様・足柄史談会会長



「明治35年小田原大海嘯(かいしよ)～高波の恐怖を伝える絵巻」



11月13日 通常例会 12:30
担当：プログラム委員会(内山)
卓話：石渡 絵理様・内山法律事務所弁護士
「女性弁護士の今！」

11月20日 通常例会(RC) 12:30
担当：プログラム委員会(大谷)
卓話：大館 仁志様・小田原湯本カントリークラブ支配人
「未定」

11月27日 通常例会(RC) 12:30
担当：ロータリー財団委員会
卓話：地区ロータリー財団担当委員
「未定」

小田原城北RAC - 商店街清掃 (Clean The My City Odawara) -

2012年10月14日 9:30～ 小田原駅周辺の商店街の清掃活動を行ないました。



例会報告：2012年10月16日（曇）第1771回通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
時間：12:30～13:30

❖ 会長挨拶

「職業奉仕」

小嶋 章司 会長



先日居酒屋で私と同じぐらいの年齢の人とその人の息子さん位の人が言い争っていました。聞き耳をたてなくても聞こえてきました。

若い人が「もうけてなにが悪い」「商売儲けなかったらなんにもならないじゃないか」それに対して年配の人は「商売でもうけてはいけないなんて言っていない。君の儲け方が悪いと言っているのだ」若い人は相当興奮して「もうけに良いも悪いもない」

どうやら若い人が商売で相当利益（もうけ）をあげているらしい。

しかし、その裏で苦情が殺到し、そのことでだいが人を泣かせるらしく年配の人が戒めているらしい。私は年配の人の上着に私たちロータリアンと同じ目的をもつもう一つの団体のバッジが見えたので、この後どうい話をするのかと変な期待をしてしまつたのですが、若い人が途中で帰ってしまったので、そのままになってしまいました。ふと自分だったらその若い人になんて言おうかと考えました。

人間社会の為に必要性を失った職業は自然に消滅するといわれる。この言葉は裏返せば現在の職業は人間社会に必要なものだということだと思えます。自分の職業だから生かすも殺すも自由であり、どの様に行っても他人の知るところではない。この認識は間違っていると思います。自分の従事する職業は社会から付託されているのであり社会から預かっているものだという認識はロータリアンが真っ先に持つべきだと思います。その職業の権威と信頼度は、その人物・その技術・その思考が相手に満足感を与えてはじめて認められる。



職業人としての使命は、一に「満足」、二に「感謝」、三に「責任」にあると思えます。自分の職業に満足することにより道徳を高めることができ、感謝することによってその真価が認められ、責任をはたすことによって権威が高められるのであります。職業人であるロータリアンはその職場を奉仕の場と考えるのは当然でありそれが成功への最短距離じゃないでしょうか。職業人として成功してこそ他の奉仕も可能ではないでしょうか。

- ・職業を通じての奉仕
- ・商取引とは売り手・買い手の双方が満足してはじめて成功する
- ・事業は利益を得る途であると同時に社会に奉仕する途である
- ・利益は求めるものでなく与えられるものでその仕事に関係した人々にもれなく与えられる天の恵みである

これらの言葉が職業奉仕の内容を端的に語るものだと思います。以上、あの青年に話したら彼はなんとと言うだろうかと考えてしまいました。

❖ 幹事報告

久保田 知子 幹事



- 1)三宅さんの御子息が、今月20日にご結婚されます。会よりお祝いを差し上げたいと思います。
- 2)鈴木友徳さんが今月10日に入院されました。詳細等わかりましたらまたご報告させていただきます。
- 3)神奈川県ロータリアン親睦テニス会のご案内が来ております。詳しい内容については掲

示板に貼っておきますので、参加したい方は申し出て下さい。
4)来週は休会です。

❖ 委員会報告

会場監督・・・清 康夫委員長

委員会より御願いとぜひ理解していただきたいことがございます。48名の当クラブの歯車が46～5でしたら順調に回るのですが、11～13名程休んでしまうと、どうも歯車が合わないと感じます。食事を頼む場合でも、食事が沢山余ったりなど非常に無駄があります。早退するときも会場監督に一言御願います。しかし卓話の方が、一生懸命良い話をしてくれるのに会員が帰ってしまうと卓話をする方も力が入らないのではないかと思います。ぜひ時間がある方は1時30分まで話を聞いて欲しいなと思えます。

❖ 出席報告

村瀬 雅實 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
10月16日	48(45)	34	1	77.78%
10月9日	48(47)	42	1	93.62%
10月2日	48(47)	41	0	87.23%

【欠席者】 11名

露木 清勝、辻村 彰秀、小川 和夫、小林 和彦、須賀 俊和
木村 啓滋、石橋 徹、須藤 公、西 寛、阿久津 肇
中村 維孝

【今回MU】 1名

須藤 公 (10/14 小田原城北RAC)

【前回MU】 1名増

小楠 雅昭 (10/14 小田原城北RAC)

【前々回MU】 増加無し

❖ Table Flower

- ・トルコキキョウ
- ・ヒペリカム
- ・TOYOロマン



ヒペリカムの花言葉は「きらめき」「悲しみは続かない」

【記事掲載】

<http://shop.plaza.rakuten.co.jp/casablanca-ginza/diary/detail/201106280000>

❖ 卓話

「ハイテクとハイタッチをつなぐ～地域活性化に向けて」

東日本電信電話（株）神奈川支店

小畑 哲哉様



神奈川県の中でも通信の歴史は横浜の方で始まりました。電話事業も通信事業も横浜から始まっております。皆さんもすでに通信サービスについては様々な形でご利用されていると思いますが、統計的に見てもすでにブロードバンドの利用が3410万、そのうち光が2020万という事で、大容量の情報を高速に使う利用の形態が増えているという事が分かります。

携帯、固定のインターネット等の中でも最初は電話という音声のサービスだったものがメールに変わり、そしていつの間にか静止画、そして音楽配信や動画がストレスなく使えるような状態になっているのですが、その裏には技術革新があり、すでに15年で1500倍の高速化という通信技術の取組みもありました。

こういう中で大きく言うと2つの取組みをしております。まず、3.11のような非常時の時に通信網を整備して繋ぎ続ける、途切れたとしたら早急に繋ぐことによって安心・安全を提供する。それによって生理的欲求や安全欲求といったことをきちっと満たすような取組みをしていこうというのが非常時の取組みであり、平常時には通信技術により便利、快適な生活を提供していこう。そういう



ったことによって社会的欲求、自我欲求、自我実現欲求を満たせるように我々としてはサポートさせていただこうということです。最初の安心・安全については震災を踏まえて、さらにネットワークの強化、PCPのプログラム等について作成し訓練等も行っております。

平常時という事ですが、今地域が抱える課題。高齢化、少子化、コミュニティーの崩壊等々に対し、我々は通信というフィールドで何とかお役に立てないだろうかということを考えて参りました。震災後地域住民の方々の意識の変化というものを見てみると、自分の目の届く範囲の方々との繋がりを重要視するという声が増えており、これが地域活性化の大きな要素だと考えております。地域活性化の要素を考えると、生きがいと暮らしがいと働きがい。この3つがバランス良く整うことが必要だと思います。それには地元の良い物探しをして、地域の持つ強みというものをきっちりピックアップ

プしていく、こういう地域の持つ強みというものをハイテクとハイタッチをうまく組み合わせながら生かしていき、この抱える課題に対して色々解決していこうということです。

具体的な取組み事例としましては、買い物支援として、南足柄の社会福祉協議会の方で現在実験的に導入していただいている物ですが、以前はヘルパーさんが利用者さんから頼まれて買い物に行き利用者さんの所に届けておりました。しかし、買い物時間もサービス提供時間に含まれるため利用者さんに十分なサービスが提供出来ませんでした。そこでタブレット端末を入れる事によりタブレット端末から地元の商店街で商品を集めて宅配業者がデリバリーをします。そうしますとヘルパーさんは、サービス提供時間の全てを利用者さん宅にすることが出来るということで、身の回りのお世話がかなり丁寧出来るようになっております。

Oisix（おいしくす）という会社では自分の子供に食べさせられる安全な食品ということをキャッチフレーズにして、独自の安全基準をクリアした物のみを出荷していこうというコンセプトに野菜等についての通販をインターネットでの販売を行っているそうです。

また光ステーションということで、湯河原商店街、横浜赤レンガ、自由ヶ丘といった所で導入していただいておりますが、これはスマートフォンを使ってこの商店街のエリアに入ると商店街独自の最新情報や限定コンテンツを得られます。そこでクーポンあるいは最新のイベント情報等を得られることが出来ます。これ以外にも観光地での情報提供をしております。

また一方で匠の技術の発信という意味では、川崎市、東京の墨田区の方で取組んでおりますが、中小企業の工場群は今まではどうしても下請け的な立場にあったのですが、匠の技を多く持っている工場群が自分たちの強みというものをお客さんにアピールしていこうと、映像をつくり情報発信することにITを使っております。

こちらのハイテクとハイタッチというのは、ハイテクは情報通信技術、これによって空間的、時間的制約を取り除くことができます。ハイタッチというのは、通信をプラットフォームとしながらも、その上に色々人と人、物と物を繋ぐためには色々な仕組み、色々なプレーヤーが参加する必要があります。そのハイテクとハイタッチ両方が組合わさることにより、色々何かを提供したい人、何かを利用したい人のマッチングが今までよりも広範に出来ることにより、地域の活性化が図る事が出来るという事で、今私どもも取組んでおりますが、ぜひ皆さんの方からもこういうことに困っているんだよと、こういうことをしたいんだよ、というようなお話を頂戴できれば一緒に考えていければと思っております。

